

## 令和7年度 第5回八潮市公共施設マネジメント推進委員会

開催日時	令和8年3月31日(火) 午後2時00分から 午後3時25分まで	開催場所	会議室3-2
出席者 〔敬称略〕	〔1号委員〕松本暢子、大谷基道 〔2号委員〕會田孝雄、小川由利子、宮本安江、田中恵子		
欠席者 〔敬称略〕	なし	傍聴者数	0人
審議内容及 び審議結果 の概要	<p style="text-align: center;"><b>【令和7年度 第5回八潮市公共施設マネジメント推進委員会】</b></p> <p>1 開 会 2 会 議 議 事(議事進行:委員長)     (1) 公共施設マネジメント基本計画の素案(前半)について 3 その他 4 閉 会</p>		
提供資料	<p>&lt;配布資料一覧&gt; 資料1:令和7年度第5回 八潮市公共施設マネジメント推進委員会 資料</p> <p>《ファイル資料》</p> <p>① 八潮市公共施設マネジメント推進委員会 委員名簿 ② 八潮市公共施設マネジメント推進委員会規則 ③ 八潮市附属機関の会議の公開に関する規則 ④ 八潮市公共施設マネジメント白書・八潮市公共施設マネジメント基本方針概要版 ⑤ 八潮市公共施設マネジメント基本計画概要版 ⑥ 八潮市公共施設マネジメントアクションプラン概要版 ⑦ 八潮市公共施設マネジメントアクションプラン見直し版</p>		

## 《議事詳細》

### 1 開会

### 2 会議

#### (1)議事

(1) 公共施設マネジメント基本計画の素案(前半)について

前年度より、基本計画とアクションプランの同時見直しを令和8年度中に目指していたが、内容量も多く作業が遅れているため、基本計画を令和8年9月末の改定、アクションプランは令和9年度夏頃策定の予定で進めたい旨、説明した。

基本計画については、今までご審議いただいた内容を反映したものとなっており、前期計画から追記した箇所や変更となる箇所について説明した。本日は第3章までご確認いただき、次回に第4章の施設分類ごとの方針についてご審議いただく予定である旨、説明した。

[松本委員長]

P21 図表2-28について、学校の耐震化をしていないように見える。市民が見たときに不安にならないように注釈等を記載した方がよい。

[事務局]

耐震化の現状については、倉庫など規模の小さい施設は耐震化計画の対象外となっておりその数値が現れている。ご指摘の通り、注釈を追記させていただく。

[松本委員長]

本計画の期間中については何とかなるけれども、ある時から長寿命化しても更新しなければならない時期が訪れ、大変になることがわかった。その時までには、本計画期間中に準備をしていかなければならない旨、どこかに記載した方がよいのではないかと。

[事務局]

P49第8節(3)にて、『～現有施設を維持することは、財政負担の観点で困難であると考えられます』と記載しているところである。長寿命化だけでなく、統合等も考えていく必要がある。公共施設の6割は学校施設であり、いずれは手を入れていかなければいけないところであると考えている。2割は庁舎であり、その他の施設についても当然統廃合を考えていくが、なかなか踏み込んで記載できないところである。

〔松本委員長〕

P77(2)アセットマネジメント推進担当部署の役割②のところ、『不明確となった～』とあるが、具体的にどういったことがあったのか。

〔事務局〕

施設所管課は、アクションプラン上に記載があれば、自動的にアセットマネジメント推進課がやってくれるものと考えを持っていた。

それぞれの改修や修繕については考えるものの、統合や他の機能の集約との話になると、アセット課にお任せという雰囲気になってしまっていた。

来年度、楽習館の大規模改修が実施予定だが、比較的利用率の低い部屋を改修し児童館機能を入れることになった。この経緯も、紆余曲折を経たものである。

今後は新たな施設として給食センターや北部拠点の話もあり、担当部の役割をよりしつかり分担してやっていこうという旨で記載したところである。

〔松本委員長〕

進捗管理も大事だが、これがなかなか難しい。評価をするための書類の準備業務が大変で、評価のための評価になってしまうことがよくある。

〔事務局〕

自治体において評価を達成できたかどうかという判断は、外的要因の影響が大きいためなかなか難しい。庁舎と保健センターを統合したことは、一定の成果を得られたと考えている。庁舎の後、他の施設も続いていきたいが、どこも問題が多く一度に着手できない。そういった課題を共有して、交通整理をしていきたいという趣旨で P77 は書かせていただいた。

スポーツ施設については、以前 3 館あったものが 1 つ耐震不足により廃止した。前期計画では新スポーツ施設について言及していたが、増築棟を建てたため状況が変わっており、見直ししていこうという方針を記載している。

〔松本委員長〕

市民に話を聞くと、スタジアムが欲しいとか、陸上競技場が欲しいといった話が出てくる。しかし、実際に利用されるか、維持できるか、と考えると厳しい。

図書館にしても、館ではなく図書室として整備するとか、スポーツ施設では小学校の体育館を利用するとか学校設備をうまく使う方向性で考えた方がよい。

〔會田委員〕

各部署の考えとアセット担当の考えとでギャップがあるのだろうと感じた。

人口減少が見込まれていて、それと併せて施設の量も考えないといけない。全国で744の自治体が消滅危機にある状況で、八潮市として人口減少を防ぐ手立ても併せて考えないといけない。なにかそういった手立てはあるか。

〔事務局〕

令和8年4月1日から、第6次八潮市総合計画が施行される。関連計画として、国の法律に基づく『まち・ひと・しごと創成総合戦略』というものがある。全国的に人口減少が進んでいるなか、それに自治体はどう対応するかを計画し、その計画に基づく施策であれば補助金も出しますよということでやっている。本市の場合は、安全安心や子育てしやすい街といった施策をやっていくが、これは全国どこの自治体も行っていることなので、人口減少をどこまで防げるかわからないけれども、本市を選んでもらえるよう、居住し続けてもらえるようやっていく。

これまでの傾向として、ここ数年はまだまだ人口は増えるという見通しだったが、令和8年1～3月にかけては減少していた。原因はまだ分析できていないが、令和7年度に行った国勢調査の結果が令和8年5月に出るので、その結果を見ながら対応していく。

ベットタウンとしての魅力をより力を入れていくとか、北部拠点など新たな整備をうちだしていくなどが考えられる。

年代別で見ると偏りがあり、若い人は入ってくるけれど、子育て世代になると出て行ってしまう傾向にある。例えば住む場所を提供するといった定着させるための施策を検討する必要がある。

〔松本委員長〕

八潮市の場合、都内に近いのは魅力だが、その割に周りより地価(住宅コスト)が高いと感じる。

〔事務局〕

人口減少への施策として、公共施設で対応するのは難しいと考える。

〔松本委員長〕

仰るとおりで、残していく施設(必要とされる施設)を軸にして考えるしかない。学校を残すとしても、例えば小中一貫校として他の学校と区別することなど、必要とされる施

設を見極めて、他市と差別化して取り組むことが求められる。人口動態を注意深く分析して、定住する世帯が魅力と感じる住民サービスや居住環境を提供できるようにすることが重要となっている。

〔會田委員〕

久喜市の小学校は全校生徒59名だが、統廃合せず少人数でやっていくと新聞を見た。

〔事務局〕

本市の教育委員会に聞いても、複式学級にはしない方向性を持っているようだ。1クラスであると同じ生徒のみとの交流では社会性が育たないということで、2クラスは確保したいと聞いている。久喜市の事例は小規模特認校のことかと思うが、本市でも導入してみたが生徒数は増えなかった。

〔大谷副委員長〕

全体を通して、スタンス次第だと思う。財政的に厳しく将来的に減らしていく方向であるというスタンスであれば、その方向性でよいのだが、一見ではわかりにくいと感じた。概要版など作成されると思うが、その際は工夫してほしい。

〔事務局〕

総務省も他自治体も同様のスタンスを取っている。本文はどうしても情報量が多くなってしまっているので、概要版では分かりやすく記載させていただく。前回副委員長よりご意見いただいた受益者負担について、アンケート結果を載せたが、その先までは書ききれなかったところである。市長が変わった名古屋市では「一気に料金を上げすぎではないか」と議論になっているようなので、やり方は丁寧にしていかないといけない。

〔松本委員長〕

受益者負担については、特にスポーツ施設が話題に上がる。健康づくりとして高齢者向けの小さなスポーツジムに需要があるようだ。また部活動も学校単位を超えた活動が増えてきている。

### 3 その他

次回の開催予定は5月29日(金)を予定している。

## 4 閉会